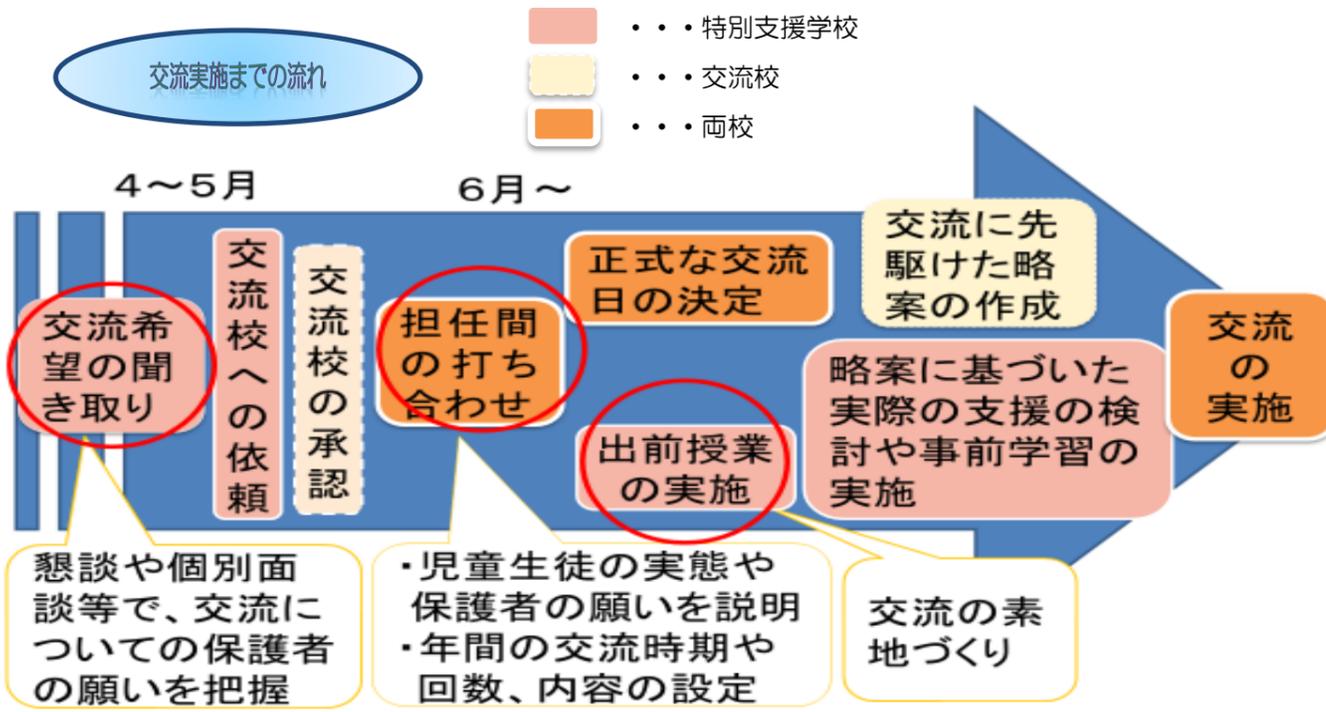


居住地校における交流及び共同学習



障害理解に関する出前授業

交流校児童生徒の障害理解の発達の段階に応じた授業を実施します。

【授業内容例】

- ① かつの校の児童生徒について
- ② 障害に関する正しい知識や理解、適切な支援方法等を知る。
- ③ 体験コーナー（障害のある児童生徒の立場に立つて）

小・中学生にも分かりやすいように演習を交えながら授業をします。

交流の事前学習以外でも学校のニーズに合わせて障害理解に関する授業を実施します。



出前授業に合わせてミニ学校展も予定しています

学年	単元名
小1	自分とは違ういろいろな人がいるよ
小2	ゆっくりタイプ（知的障害）の人がいるよ
小3	見えない・見えにくい人（視覚障害）について知ろう
小4	聞こえない・聞こえにくい人（聴覚障害）について知ろう
小5	車いすを使用している人について知ろう
小6	いろいろな困り感のある人（発達障害）について知ろう①
中1	いろいろな困り感のある人（発達障害）について知ろう②
中2	心のバリアフリー～知らないという障害をなくそう～
中3	共生社会の実現を目指して～多様性を認め、互いに尊重し合おう～



わくわく

どきどき

うきうき



いっしょに

まなぼう

ふれあおう

【問い合わせ先】 秋田県立比内支援学校かつの校

〒018-5201 秋田県鹿角市花輪字案内2

TEL: 0186 (22) 0253 0186 (22) 2631

FAX: 0186 (30) 1245 E-mail: kazuno-s@akita-pref.ed.jp

副校長 村松 勝信 地域支援部主任 能登谷 可子 (のとや よしこ)

交流及び共同学習の意義

障害のある子どもたちにとって

- 居住地とのつながりができ、社会性や人間性が育ちます。
- 生活経験が広がり、たくさんの友達とのかかわりの中で、もっている力を伸ばすことができます。

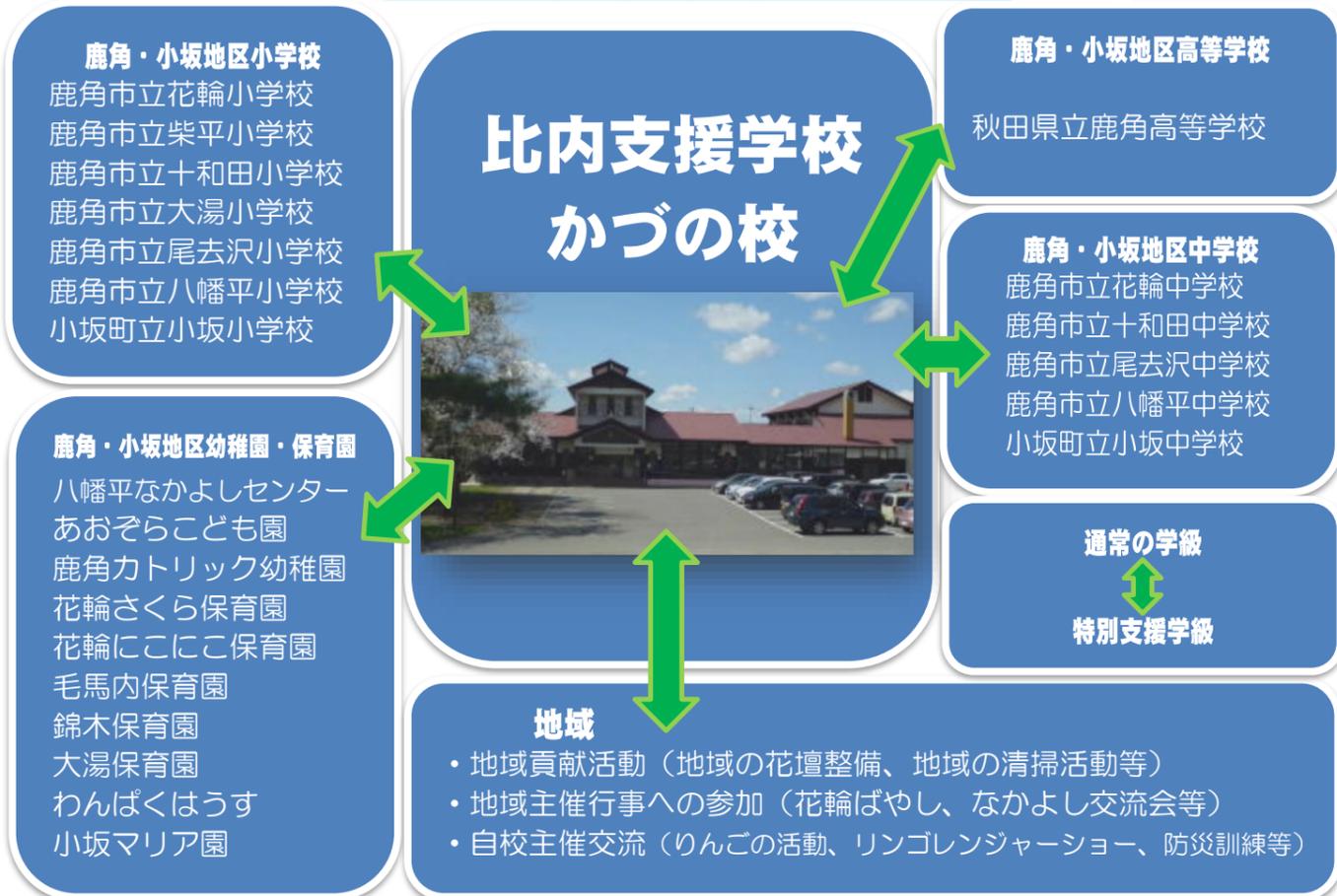
障害のない子どもたちにとって

- 障害について正しい理解が深まり、思いやりの気持ちが育ちます。
- 自分を見つめ直し、自分を振り返る機会になります。
- お互いを認め合い、共に助け合い、支え合って生きていくことの大切さを学びます。

交流及び共同学習の主な形態



さまざまな交流及び共同学習



学校間における交流

- 〈花輪さくら保育園〉
ビデオレター交流、運動会、ゲーム交流
- 〈花輪小学校3年生〉
学校探検、ゲーム交流、オンライン交流
- 〈柴平小学校特別支援学級〉
学校探検、ゲーム交流
- 〈小坂中学校・花輪中学校1年生〉
ポッチャ交流、花輪ばやし
- 〈小坂高校〉〈十和田高校〉
ものづくり、スポーツ交流



地域の人々との交流

- 〈りんごの活動〉
花摘み、袋がけ、袋はがし、収穫
- 〈リンゴレンジャーショー〉
小学校、コモッセ等での公演
- 〈花輪ばやし〉
横丁との花輪ばやし交流
- 〈アップルロードレース〉
浅利純子さんとのマラソン交流
- 〈花いっぱい運動〉
花輪商店街、花輪サービスエリアの花壇整備等
- 〈地域の清掃活動〉
まちなかオフィス、花輪商店街
- 〈その他〉
大湯チューリップ畑の作業等

